

## 著者紹介

### Clark Thomborson

1980年カーネギーメロン大学卒業 (Ph.D). 1996年ニューゼーランドへ移民。同年オークランド大学教授。ソフトウェアセキュリティ、最適化、VLSI、データ圧縮等の研究に従事。

### 赤津 雅晴

1987年東京大学工学部計数工学科卒業。現在、(株)日立製作所システム開発研究所主任研究員。博士(工学)。情報システムのモデリング、分析手法の研究に従事。電気学会、経営情報学会、電子情報通信学会各会員。  
E-mail:akatsu@sdl.hitachi.co.jp

### 今宮 淳美 (正会員)

1968, 1970, 1973年、東北大学工学学士、修士、博士号を各々取得。現在、山梨大学医学工学総合研究部教授。情報可視化、マルチモデルインタフェース、ユーザビリティ評価の研究・教育に従事。

### 奥村 洋

1988年東京工業大学理学修士課程修了。富士ゼロックス(株)入社。以後、オブジェクト指向システム、構造化文書データベース、分散システムの研究・開発に従事。2000年から(株)豆蔵にて、UML/オブジェクト指向の技術指導および導入コンサルティングを開始。2003年より現職。現在製造業向けにUMLを用いたシステム開発コンサルティング、プロセス改善コンサルティングに従事。

### 小野 厚夫 (正会員)

1936年生。東北大学大学院理学研究科原子核理学専攻修了。理学博士。東北大学理学部助手、理化学研究所情報科学研究室研究員、高エネルギー物理学研究所物理研究系助教授、神戸大学教養部教授、同国際文化学部教授、現在大手前大学社会文化学部教授。

### 小野寺康明

平成8年東北大学大学院修士課程修了。同年日本電信電話(株)(NTT)入社。現在NTTコミュニケーションズネットワーク事業部OSS開発勤務。OCN, VoIP等のOSS開発に従事。

### 片山 卓也 (正会員)

1962年東京工業大学電気工学科卒業、1964年同大学院修士課程修了、1974年同助教授、1985年同教授、1991年から北陸先端科学技術大学院大学教授。1985年本会理事、1991年日本ソフトウェア科学会理事長。

### 金子 真

1981年東京大学工学系研究科博士課程修了。工学博士。同年、通産省工業技術院機械技術研究所(現産業技術総合研究所)入所。1990年九州工業大学情報工学部機械システム工学科助教授。1993年より広島大学工学部第二類(電気系)教授。アクティブセンシングや把握戦略の研究に従事。

### 金田 行雄

名古屋大学大学院工学研究科計算理工学専攻教授。1976年東京大学大学院理学系研究科博士課程物理学専攻修了。理学博士。同大理学部助手、名古屋大学工学部助手、助教授、教授、多元数理科学研究科教授等を経て現職。専門は計算流体物理学。日本流体力学会、日本物理学会、他各会員。  
E-mail:kaneda@cse.nagoya-u.ac.jp  
http://www.fluid.cse.nagoya-u.ac.jp/

### 木村 泰司 (正会員)

(社)日本ネットワークインフォメーションセンター(JPNIC)主担研究員。1999年奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科博士前期課程修了。同博士後期課程に在学中。認証システ

ムとアクセス制御技術の研究および認証局に関する調査研究に従事。

### 坂村 健 (正会員)

1951年東京生。東京大学大学院情報学環教授。1984年から新しいコンピュータ体系TRONを開発。現在、ユビキタス環境構築のための重要な組み込みOSとして世界で最も使われている。

### 櫻井 三子 (正会員)

日本電気(株)勤務。1992年慶應義塾大学理工学研究科数理学専攻修士課程修了。入社以来、インターネットセキュリティ分野の業務に従事。長くかかわってきた分野は認証。

### 佐々木 裕 (正会員)

1988年筑波大学大学院修士課程理工学研究科修了。同年~2004年、NTT研究所所属。2004年~現在、ATR音声言語コミュニケーション研究所に出席中。博士(工学)。自然言語処理、機械学習の研究に興味を持つ。

### 柴山 潔 (正会員)

1979年京都大学大学院博士課程修了。同年同大・工・助手、同助教授を経て、1992年より京都市芸繊維大学・工芸・教授、現在工芸学部長。工学博士(京都大学)。コンピュータシステム、コンピュータアーキテクチャなどの教育・研究に従事。

### 隅田英一郎 (正会員)

(株)国際電気通信基礎技術研究所音声言語コミュニケーション研究所主幹研究員。1982年電気通信大学大学院電気通信学研究科修士課程修了。工学博士。自然言語処理、eラーニングの研究に興味を持つ。

### 出口 弘

東京工業大学大学院総合理工学研究科システム専攻博士後期課程修了。福島大学経済学部助手、国際大学グローバルコミュニケーションセンター助教授、中央大学商学部助教授、京都大学大学院経済学研究科助教授を経て、現在に至る。理学博士、博士(経済学)。

### 徳田 英幸 (正会員)

1977年慶應義塾大学大学院工学研究科修士。1983年ウォータールー大学計算機科学科Ph.D.(Computer Science)。同年カーネギーメロン大学計算機科学科勤務。1990年同学科研究准教授、慶應義塾大学環境情報学部勤務。現在、同大学院政策・メディア研究科委員長。主に、分散リアルタイムシステム、ユビキタスコンピューティング&コミュニケーションの研究に従事。本会SIGUBI主査、IEEE、ACM、日本ソフトウェア科学会、電子情報通信学会各会員。

### 西山 敏雄 (正会員)

昭和59年九州大学大学院修士課程修了。同年日本電信電話公社(現NTT)電気通信研究所入所。現在NTTコミュニケーションズネットワーク事業部OSS開発担当部長。OCN、VPN等のOSS/BSS開発に従事。

### 鳩山由紀夫

東京大学工学部卒業。スタンフォード大学工学部博士課程修了。1986年自民党公認で出馬し初当選。1993年「新党さきがけ」を結成。1996年「民主党」結党。民主党代表を3期務め、現在は次の内閣外務大臣。

### 古井 貞照 (正会員)

東京工業大学大学院情報理工学研究科計算工学専攻教授。昭和43年東京大学・工・計数卒業。昭和45年同大学院修士課程修了。NTT電気通信研究所入社。ベル研究所客員研究員、NTT基礎研究所第四研究室長、ヒューマンイン

タフェース研究所音声情報研究部長。同古井特別研究室長を経て、平成9年より現職。工学博士。専門は、音声を中心とするマルチメディア情報処理。著書「デジタル音声処理」「Digital Speech Processing, Synthesis, and Recognition」「音響・音声工学」「音声情報処理」など。科学技術庁、IEEE、電子情報通信学会、日本音響学会などより論文賞、業績賞など受賞。IEEE、米国音響学会および電子情報通信学会 Fellow、ISCA(国際音声通信学会)会長。  
E-mail: furui@cs.titech.ac.jp  
http://www.furui.cs.titech.ac.jp/. http://www.coe21-lkr.titech.ac.jp/english/index.html

### 堀籠 浩一

平成元年東京理科大学大学院修士課程修了。同年日本電信電話(株)(NTT)入社。現在NTTコミュニケーションズネットワーク事業部OSS開発担当課長。OCN, VoIP等のOSS開発に従事。

### 益田 隆司 (正会員)

昭和38年東京大学工学部卒業。昭和40年(株)日立製作所。昭和52年筑波大学講師、助教授、教授。昭和63年東京大学理学部情報科学科教授。平成7~9年同大理学部部長、大学院理学系研究科長。平成12年電気通信大学教授。平成16年より同大学長。本会論文誌編集委員、研究会主査、理事、監事を歴任。現在本会会長。

### 松尾 和洋 (正会員)

東京大学大学院物理学専攻博士課程修了後、University of California, San Diego (UCSD)に留学。富士通入社後は、国際情報社会科学研究科、富士通研究所を経て、現在Fujitsu Laboratories of America, Inc., Senoir Vice President & College Park 研究所長。理学博士。人工知能学会理事、日本神経回路学会理事、Neural Network誌 Acting Editorを歴任。Maryland 大学客員教授を兼務。  
E-mail: kmatsuo@fla.fujitsu.com

### 松田 裕幸

1985年東京工業大学大学院理工学研究科情報科学専攻修了。現在、学術国際情報センター助手。

### 湊 小太郎 (正会員)

昭和45年京都大学・工・電気系卒業。昭和54年同大病院放射線部助手。昭和58年同医療情報部助教授。平成9年より奈良先端科学技術大学院大学、現在、同情報科学研究科・生命機能計測学分野教授。医療情報学、医用画像工学、生体医学などの研究に従事。京都大学工学博士。

### 箕浦 大祐 (正会員)

1995年東京工業大学大学院修士課程修了。同年NTT入社。持株会社研究所にて多地点映像音声コミュニケーションシステムの研究開発に従事した後、NTT東日本にて前記研究成果を商品化、インターネット会議システムとして販売する企業内起業を牽引。現在、NTT東日本から英国ケンブリッジ大学大学院MBAコースに派遣中。博士(工学)。

### 門田 暁人 (正会員)

平成6年名古屋大学・工・電気卒業。平成10年奈良先端科学技術大学院大学・情報・博士修了。平成16年同大助教授。平成15~16年オークランド大学客員研究員。博士(工学)。ソフトウェア工学、ソフトウェアプロテクション等の研究に従事。

### 山川 烈

九州工業大学大学院生命体教授。1969年同大電子卒業。1974年東北大学大学院工学・電子・博士課程修了。同大助手、熊本大学・工・

助教授、九州工業大学情報工学部、教授を経て、2001年より現職。この間、九州工業大学情報工学部長（1993～98年）、1990年（財）ファジィシステム研究所を設立、現在まで同理事長。ファジィ情報処理システム、ニューラルシステム、カオスシステムおよびマイクロ加工技術に関する研究に従事。国際ファジィシステム学会、日本知能情報ファジィ学会、電子情報通信学会、矯正歯科学会、バイオメディカルファジィシステム学会、顔学会各会員。  
E-mail:yamakawa@brain.kyutech.ac.jp  
http://www.brain.kyutech.ac.jp/~yamakawa/

山下 伸夫（正会員）

1995年東京大学大学院工学系研究科情報工学修士、1995～2000年NTTエレクトロニクス（株）、2004年～現在（株）タイムインターメディア。

山本 誠一

昭和49年大阪大学大学院基礎工学修士課程修了。同年国際電信電話（株）入社。ATR音声言語コミュニケーション研究所所長を経て、現在、同志社大学工学部教授、ATR招聘研究員、工学博士。IEEE Fellow。電子情報通信学会フ

ェロー。

吉川 大弘

名古屋大学大学院工学研究科計算理工学専攻COE特任助教授。1997年名古屋大学大学院工学研究科電子情報学専攻修了、博士（工学）、三重大学助手を経て現職。専門はソフトコンピューティング。日本知能情報ファジィ学会、電気学会、IEEE各会員。  
E-mail:tom@fcs.coe.nagoya-u.ac.jp  
http://www.cmplx.cse.nagoya-u.ac.jp/

## 訂 正

本誌46巻3号（2005年3月号）の特集記事「5. 医療・医学におけるバイオインフォマティクス」に誤りがありました。お詫びして以下の通り訂正いたします。

p.262 表-2のキャプション

（誤）「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」の基本的な考え方

（正）「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」の基本的な考え方

## 会 員 各 位

過去に発行された当会会員名簿は「会員相互間の連絡や情報交換」を目的としています。

最近この目的をはずれ、「広告、諸勧誘、商取引等の営利活動に不正に利用される」方がおられますが、このような行為は厳重に謹んでください。名簿を廃却される場合にも、再利用されることのないようご注意願います。

また、上記不正利用にあてはまらない場合でも、受け取った相手が不愉快な思いをされないよう、節度を持った利用をお願いいたします。

当会では、現在会員名簿を発行しておりません。



## おひいすらん

最近の家電はすごいと思う。何がすごいかというと、先週我が家に届いた冷蔵庫はビタミンが増える野菜室があるのだ。14年間働いた冷蔵庫（今は冷凍室が解凍室に変身した）に感謝しつつも、その当時は新機能が付いた冷蔵庫が十数年後に登場するとは夢にも思わなかった。

どうやら今年は、電化製品の買い替え時期らしい。どれもこれも10年以上使用しているのだからしかたがない。1月中旬のDVカメラに始まって、下旬のDVDレコーダー、4月の冷蔵庫、おそらく夏までには電子レンジ、洗濯機へと続くだろう。

それにしても、新しいものは高性能のため、使い方をマスターするには少々時間がかかるが、楽しみが増えて、とても満足している。DVカメラは動画を撮影中にスナップショットも撮れるし、DVDレコーダーは録画した画像がきれいだし。

ところで、冷蔵庫の品定めに家電量販店に何度も足を運んだが、最近小型化しているのは、DVカメラやオーディオ機器ぐ

らいで、冷蔵庫、洗濯機、TVはむしろ大型化しているようだ。そのうえ、同じ機能の冷蔵庫でも、サイズが小さい方が価格が高いのである。オープン価格のため、より多く販売されたものがどんどん価格が下がるらしい。大きい方が売れているということか。日本の家屋が大きくなったとも思えず、不思議な現象である。

話は変わるが、今、野菜の中で最も栄養（何の栄養成分か知らないが）のあるのはスプラウト（発芽して3日程度のもの）とか言われているので、だいぶ前に買ったスプラウト栽培キットを使って時々ブロッコリーやラディッシュ等を栽培していたのだが、光量不足で育ちが悪かった。今度からは、冷蔵庫のオレンジ色のLEDライトに照らされている野菜室で栽培してみるつもりだ。ちなみに、このような使い方をしていいとは、冷蔵庫の説明書にはない。

（老川ひろ子／会員サービス部門）

## 会員皆様への「情報処理学会倫理綱領」遵守のお願い

最近、残念なことに、本会の著作権規程に違反するなど学会員としてのモラルを欠くような事態が見受けられます。本会では、学会員の倫理規範である「情報処理学会倫理綱領」を以下の通り設けておりますが、会員皆様におかれましては、この機会に改めてご一読いただき、学会員としての規範を遵守くださるようお願いいたします。

情報処理学会著作権規程は次のページをご覧ください。

### 「情報処理学会倫理綱領」

#### 前文

我々情報処理学会会員は、情報処理技術が国境を越えて社会に対して強くかつ広い影響力を持つことを認識し、情報処理技術が社会に貢献し公益に寄与することを願い、情報処理技術の研究、開発および利用にあたっては、適用される法令とともに、次の行動規範を遵守する。

#### 1. 社会人として

- 1.1 他者の生命、安全、財産を侵害しない。
- 1.2 他者の人格とプライバシーを尊重する。
- 1.3 他者の知的財産権と知的成果を尊重する。
- 1.4 情報システムや通信ネットワークの運用規則を遵守する。
- 1.5 社会における文化の多様性に配慮する。

#### 2. 専門家として

- 2.1 たえず専門能力の向上に努め、業務においては最善を尽くす。
- 2.2 事実やデータを尊重する。
- 2.3 情報処理技術がもたらす社会やユーザへの影響とリスクについて配慮する。
- 2.4 依頼者との契約や合意を尊重し、依頼者の秘匿情報を守る。

#### 3. 組織責任者として

- 3.1 情報システムの開発と運用によって影響を受けるすべての人々の要求に応じ、その尊厳を損なわないように配慮する。
- 3.2 情報システムの相互接続について、管理方針の異なる情報システムの存在することを認め、その接続がいかなる人々の人格をも侵害しないように配慮する。
- 3.3 情報システムの開発と運用について、資源の正当かつ適切な利用のための規則を作成し、その実施に責任を持つ。
- 3.4 情報処理技術の原則、制約、リスクについて、自己が属する組織の構成員が学ぶ機会を設ける。

#### 注

本綱領は必ずしも会員個人が直面するすべての場面に適用できるとは限らず、研究領域における他の倫理規範との矛盾が生じることや、個々の場面においてどの条項に準拠すべきであるか不明確（具体的な行動に対して相互の条項が矛盾する場合を含む。）であることもあり得る。したがって、具体的な場面における準拠条項の選択や優先度等の判断は、会員個人の責任に委ねられるものとする。

#### 付記

1. 本綱領は平成8年5月20日より施行する。
2. 本綱領の解釈および見直しについては、必要に応じて委員会を設置する。

# 情報処理学会著作権規程

平成 12 年 4 月 1 日制定  
平成 13 年 6 月 20 日改訂  
平成 16 年 11 月 30 日改訂

情報処理学会は、研究論文等の印刷、配布又は Web 送信など、投稿者及び他の会員や社会の期待に応えるサービスを、情報処理学会の名声と権威にふさわしい質を維持しながら提供する必要がある。しかも、このサービスは将来予想される新技術や会員/社会のニーズの変化に柔軟に対応しつつ、安全かつ継続して提供できねばならない。

そのためには、情報処理学会が自己の名義の下で公表する著作物の著作権に関する取り扱いを明確にする必要がある。この規程ではかかる著作物の著作権を情報処理学会に譲渡してもらうことを原則とするものの、それによって著者ができるだけ不便を被らないよう配慮する。

## (この規程の目的)

第 1 条 この規程は、本学会に投稿される論文等（本学会発行の出版物に投稿される論文、解説記事等及び本学会に投稿される研究報告、シンポジウム・全国大会・本学会が主催又は共催する国際会議などの予稿、プロシーディングス原稿等を含む。以下あわせて論文等という。）に関する著作者・投稿者（以下あわせて「著作者」という。）の著作権の取り扱いに関して取り決めるものである。

## (著作権の帰属)

第 2 条 本学会に投稿される論文等に関する国内外の一切の著作権（日本国著作権法第 21 条から第 28 条までに規定するすべての権利\*を含む。）は本学会に最終原稿が投稿された時点から原則として本学会に帰属する。

2. 特別な事情により前項の原則が適用できない場合、著作者は投稿時にその旨を投稿窓口あてに文書にて申し出るものとする。その場合の著作権の扱いについては著作者と本学会との間で協議の上措置する。

3. 本学会の出版物に投稿された論文等が本学会の出版物に掲載されないことが決定された場合、本学会は当該論文等の著作権を著作者に返還する。

## (不行使特約)

第 3 条 著作者は、以下各号に該当する場合、本学会と本学会が許諾する者に対して、著作者人格権を行使しないものとする。

- (1) 翻訳及びこれに伴う改変
- (2) 電子的配布に伴う改変
- (3) アブストラクトのみ抽出して利用
- (4) 前各号の他の利用に伴う改変

## (第三者への利用許諾)

第 4 条 第三者から著作権の利用許諾要請があった場合、本学会は本学会理事会において審議し、適当と認められたものについて要請に応ずることができる。また、利用許諾する権利の運用を理事会の承認を得て外部機関に委託することができる。

2. 前項の措置によって第三者から本学会に対価の支払いがあった場合には、本学会会計に繰り入れ学会活動に有効に活用する。

## (著作者の権利)

第 5 条 本学会が著作権を有する論文等の著作物を著作者自身がこの規程に従い利用することに対し、本学会はこれに異議申し立て、もしくは妨げることをしない。

2. 著作者が著作物を利用しようとする場合、著作者は本学会に事前に申し出を行った上、本学会の指示に従うとともに利用された複製物あるいは著作物中に本学会の出版物にかかる出典を明記することとする。ただし、元の論文等を 25% 以上変更した場合には、この限りではない。また、3 項、5 項にかかわる利用に関しては事前に申し出ることなく利用できる。

3. 論文等のうち、本学会が査読の上論文誌（ジャーナル及びトランザクション。以下同じ。）への採録を決定して最終原稿を受領したもの及び会誌記事については、著作者は他の学会に投稿することはできない。なお、論文等のうち、研究報告、シンポジウム予稿、全国大会予稿、国際会議予稿、及びプロシーディングス原稿（以下「研究報告等」という。）については、研究の途中成果とみなし、著作者が当該研究報告等を研究の最終成果物とするため他学会等へ投稿する（以下「論文化投稿」という。）ことに対して、本学会は本学会が著作権を保有していることを理由に著作者および他学会等に対し異議申し立てを行わない。

4. 著作者が論文化投稿をするにあたり、著作権の返還を本学会に申請した場合、本学会は、当該著作者の申請が正当な理由によるも

のと認めるときは、当該研究報告等の著作権を著作者に返還する。ただし、当該著作者は、当該研究報告等に関し、本学会の運営上必要となる事項（第三者への複製許諾、学会が作成する Web サイト、CD-ROM 等への論文掲載等）を本学会が継続して実施できるよう、本学会に対して当該研究報告等にかかる著作権の利用許諾を行うものとする。なお、当該利用許諾については投稿先の学会等に事前に通知するものとし、本学会へ利用許諾を行ったことにより投稿先の学会等との間に紛争が生じた場合は、本学会は当該著作者と協力して、解決を図るものとする。

5. 著作者は、投稿した論文等について本学会の出版物発行前後にかかわらず、いつでも著作者個人の Web サイト（著作者所属組織のサイトを含む。以下同じ。）において自ら創作した著作物を掲載することができる。ただし、掲載に際して「情報処理学会倫理綱領」に則ること、ならびに本学会の出版物にかかる出典（当該出版物が発行された場合）及び利用上の注意事項\*\*を明記しなければならない。

## (例外的取り扱い)

第 6 条 他の学会等との共催行事に投稿される論文等の著作権について別段の取り決めがあるときは、前各条にかかわらず、当該取り決めがこの規程に優先して適用されるものとする。

## (著作権侵害および紛争処理)

第 7 条 本学会が著作権を有する論文等に対して第三者による著作権侵害（あるいは侵害の疑い）があった場合、本学会と著作者が対応について協議し、解決を図るものとする。

2. 本学会に投稿された論文等が第三者の著作権その他の権利及び利益の侵害問題を生じさせた場合、当該論文等の著作者が一切の責任を負う。

## (発効期日)

第 8 条 この規程は平成 12 年 4 月 1 日に遡って有効とする。なお、平成 12 年 4 月 1 日より前に投稿された論文等の著作権についても、投稿者から別段の申し出があり、本学会が当該申し出について正当な事由があると認められた場合を除き、この規程に従い取り扱うものとする。

## \*以下の権利を含む：

複製権（第 21 条）、上演権及び演奏権（第 22 条）、上映権（第 22 条の 2）、公衆送信権等（第 23 条）、口述権（第 24 条）、展示権（第 25 条）、頒布権（第 26 条）、譲渡権（第 26 条の 2）、貸与権（第 26 条の 3）、翻訳権、翻案権等（第 27 条）、二次的著作物の利用に関する原著作者の権利（第 28 条）。

## \*\*利用上の注意事項の例：

ここに掲載した著作物の利用に関する注意  
本著作物の著作権は（社）情報処理学会に帰属します。本著作物は著作権者である情報処理学会の許可のもとに掲載するものです。ご利用に当たっては「著作権法」ならびに「情報処理学会倫理綱領」に従うことをお願いいたします。

## Notice for the use of this material

The copyright of this material is retained by the Information Processing Society of Japan (IPSJ). This material is published on this web site with the agreement of the author (s) and the IPSJ. Please be complied with Copyright Law of Japan and the Code of Ethics of the IPSJ if any users wish to reproduce, make derivative work, distribute or make available to the public any part or whole thereof.

All Rights Reserved, Copyright (C) Information Processing Society of Japan.

Comments are welcome. Mail to address editj@ipsj.or.jp, please.

# ご意見をお寄せください！

【6月10日頃までにお出しく下さい】

宛先 (社) 情報処理学会 モニタ係 (下記のいずれからでも送付できます)  
http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enq4605.html Fax(03)3518-8375 E-mail:editj@ipsj.or.jp  
(E-mail で送信される場合は、10-1-a のようにコードでお答えください)

[コード]

1. ご氏名
2. ご所属 Tel. (            )            -
3. E-mail:
4. 業種：(a) 企業 (サービス業) (b) 企業 (製造業) (c) 研究機関 (d) 教育機関 (大学・高専など)  
(e) 学生 (f) その他 ..... 4-
5. 職種：(a) 研究職 (b) 開発・設計 (c) システムエンジニア (d) 営業 (e) 本社管理業務  
(f) 会社経営・役員・管理職 (g) 教官/教員 (大学・大学院) (h) 教職員 (小・中・高校・高専など)  
(i) 学生 (j) その他 ..... 5-
6. 年齢：(a) 10代 (b) 20代 (c) 30代 (d) 40代 (e) 50代 (f) 60代以上 ..... 6-
7. 性別：(a) 男性 (b) 女性 ..... 7-
8. あなたはモニタですか？：(a) はい (b) いいえ ..... 8-
9. あなたのご意見は「会員の広場」(会誌および Web) に掲載される場合があります。その場合：  
(a) 実名可 (氏名のみ掲載) (b) 匿名希望 ..... 9-
10. 今月号 (2005年5月号) の記事についてのあなたの評価をご記入ください。  
[a…大変参考になった b…よい c…普通、どちらとも言えない d…悪い e…読んでいない]
- 創立 45 周年記念特別寄稿：情報という言葉を探ねて (2) ..... 10-1-  
特集：21 世紀卓越した情報研究拠点プログラムの目指す研究 (後編)
  1. 「次世代メディア・知的社会基盤」プロジェクト ..... 10-2-
  2. 大規模知識資源の体系化と活用基盤構築 ..... 10-3-
  3. 生物とロボットが織りなす脳情報工学の世界 ..... 10-4-
  4. 次世代ユビキタス情報社会基盤の形成 ..... 10-5-
  5. エージェントベース社会システム科学の創出 ..... 10-6-
  6. 検証進化可能電子社会 ..... 10-7-
  7. 計算科学フロンティアの開拓 ..... 10-8-
  8. 超速ハイパーヒューマン技術が開く新世界 ..... 10-9-成功するアウトソーシングの勘所 ..... 10-10-  
組込みソフト産業の実態と開発の課題：日本の組込みシステム開発の特徴と今後の展開 ..... 10-11-  
SuperCon：スーパーコンピュータを使った高校生向けプログラミングコンテスト ..... 10-12-  
機械翻訳システム評価法の最前線 ..... 10-13-  
ソフトウェアプロテクションの技術動向 (後編) ..... 10-14-  
Haskell プログラミング：木 (tree) で遊ぶ ..... 10-15-  
Web サービス：Web サービスの BtoB 連携適用事例 ..... 10-16-  
欧州の IT 技術とビジネス：Silicon Fen ..... 10-17-  
アメリカ IT まわりの話題：行き届いたサービスか、プライバシー保護か？ ..... 10-18-  
日本の IT 事情：ライブドア問題に見るメディアの将来 ..... 10-19-  
電子認証いまむかし：PKI と電子認証のツールたち ..... 10-20-  
20 世紀の名著名論：Joseph A. Fisher：Very Long Instruction Word Architectures and The ELL-512 ..... 10-21-  
20 世紀の名著名論：J. D. Foley and A. van Dam：Fundamentals of Interactive Computer Graphics ..... 10-22-  
情報技術と医療：電子カルテと利己的遺伝子 ..... 10-23-
11. 特に興味を持ってお読みになった記事とその感想をお書きください。
12. 著者への質問、今後取り上げて欲しいテーマ、また「道しるべ」に取り上げてほしいテーマなどありましたらお書きください。

4月号に引き続いての特集担当で、覚悟していたとはいえ、かなりヘビーな作業でした。一時は、4月号と5月号の両方の原稿が飛び交い、他の委員会の報告書案も重なり、あまりの容量にメールが受信できず、収集がつかなくなりました。このような状況を毎月こなしておられる和田編集長、事務局後路氏、綿谷氏に、再度脱帽です。

執筆いただいた先生方には督促しながら、企業在籍会員にとって理解しやすい表現をと称して傍若無人のお願いを行い、混乱に輪をかけてしまいました。理解しやすい方向にプラスに働いたらよいのですが。和田編集長の「編集系独白」が怖いです。  
(土井美和子/本特集エディタ)

次号 (6月号) 予定目次

編集の都合により変更になる場合がありますのでご了承ください。

「特集」 情報社会における脆弱性にかかわる研究動向

情報社会の脆弱性について/暗号における脆弱性について/ソフトウェア製品における脆弱性について/ウェブアプリケーションにおける脆弱性について/DRMにおける脆弱性について/脆弱性を視覚化するハザードマップとコストモデルについて/脆弱性にかかわる法的側面について/脆弱性情報の取扱いについて/脆弱性問題を解決するための多重リスクコミュニケーション

解 説

45周年記念特別寄稿：情報という言葉を探ねて (3) ..... 小野厚夫  
学習対象メタデータ (LOM) 付与による教育用コンテンツの共有と流通 ..... 清水康敬  
少数キーによる入力-言語の視点から ..... 田中久美子

連 載 Haskell プログラミング/ Web サービス/組込みソフト産業の実態と開発の課題

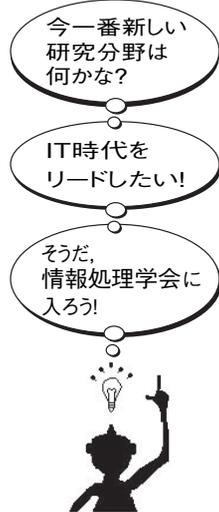
コラム アメリカ IT まわりの話題/情報技術と医療/電子認証いまむかし/20世紀の名著名論/日本のIT事情

# 会員募集中!!

ITの最新情報、研究発表の場の提供を通じて、  
あなたのお役に立ちます。

詳しくはWebサイト <http://www.ipsj.or.jp/> をご覧ください

申込/照会先 社団法人 情報処理学会  
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F  
Tel:(03)3518-8370(会員サービス部門) E-mail:mem@ipsj.or.jp



複写される方に

〔R〕 <学術著作権協会依託>

本誌に掲載された著作物を複写したい方は、(社)日本複写権センターと包括複写許諾契約を締結されている企業の従業員以外は、図書館も著作権者から複写権の行使の委託を受けている次の団体から許諾を受けてください。著作物の転載・翻訳のような複写以外の許諾は、直接当学会へご連絡ください。

〒170-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル

学術著作権協会

E-mail: naka-atsu@muj.biglobe.ne.jp

Tel (03)3475-5618 Fax (03)3475-5619

ただし、アメリカ合衆国における複写については、右記の In the USA に記載の所へご照会ください。

Notice about Photocopying

In order to photocopy any work from this publication, you or your organization must obtain permission from the following organization, which has been delegated for copyright for clearance by the copyright owner of this publication.

Except in the USA

Japan Academic Association for Copyright

Clearance (JAACC)

6-41 Akasaka 9-chome, Minato-ku, Tokyo

107-0052, Japan

E-mail: naka-atsu@mju.biglobe.ne.jp

Tel: 81-3-3475-5618 Fax: 81-3-3475-5619

In the USA

Copyright Clearance Center, Inc. (CCC)

222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923, USA

Phone: (978)750-8400 Fax: (978)750-4744

<http://www.copyright.com>

## 掲載広告カタログ・資料請求用紙

掲載広告の詳しい資料をご希望の方は、必要事項をご記入の上、E-mail:sei@ss-com.co.jp または Fax.03-3368-1519 へご請求ください。

「情報処理」 月号をみて

広告主名	製品名	希望項目 <sup>※</sup>	その他要望事項

※希望項目：A 購入希望, B 担当者から連絡・訪問希望, C カタログ希望

フリガナ  
お名前

\_\_\_\_\_

勤務先

所属部署

\_\_\_\_\_

所在地

(〒       -       )

TEL (       )

-

FAX (       )

-

\_\_\_\_\_

ご専門の分野

\_\_\_\_\_

広告のお問合せ・お申込みは・・・広告総代理店（株）精機通信社へ

発行 社団法人 情報処理学会  
 発行部数 30,000 部  
 体裁 A4 判  
 発行日 毎当月 15 日  
 申込締切 前月 10 日  
 原稿締切 前月 20 日  
 広告原稿 オフセット用ポジフィルム  
 原稿寸法 1 頁 天地 260mm × 左右 180mm  
           1/2 頁 天地 125mm × 左右 180mm  
 雑誌寸法 天地 297mm × 左右 210mm

お問合せ・お申込みは

広告総代理店

（株）精機通信社 Tel.03-3367-0571

〒 169-0073 東京都新宿区百人町 2-16-13

Fax.03-3368-1519 E-mail: sei@ss-com.co.jp

### ■広告料金表

掲載場所	4 色	2 色	1 色
表 2	346,500 円 (税抜 330,000 円)	—	—
表 3	288,750 円 (税抜 275,000 円)	—	—
表 4	404,250 円 (税抜 385,000 円)	—	—
表 2 対向	315,000 円 (税抜 300,000 円)	—	—
表 3 対向	278,250 円 (税抜 265,000 円)	199,500 円 (税抜 190,000 円)	162,750 円 (税抜 155,000 円)
前付 1 頁	262,500 円 (税抜 250,000 円)	173,250 円 (税抜 165,000 円)	141,750 円 (税抜 135,000 円)
前付 1/2 頁	—	—	84,000 円 (税抜 80,000 円)
前付最終	—	—	155,400 円 (税抜 148,000 円)
目次前	—	—	155,400 円 (税抜 148,000 円)
差込 (A4 判 70.5kg 未満 1 枚)	288,750 円 (税抜 275,000 円)		
差込 (A4 判 70.5kg ~ 86.5kg 1 枚)	367,500 円 (税抜 350,000 円)		

\* 上記料金はポジフィルム納入による料金です。

\* 版下・製版等が必要な場合には別途実費申し受けます。

\* 断切広告は上記料金の 10% 増です。ただし、表 4 は不可。

## ◆◆ 有料会告について ◆◆

本会の主催・共催行事および協賛・後援記事の次第書（論文募集、参加案内等）の本誌掲載については、下記により有料にて取り扱っていますのでお知らせします。

### 記

#### ■掲載条件

件名	内容	掲載単位	掲載料金（消費税込）	
論文募集／ 参加者募集	国際会議、シンポジウム、ワークショップ、講演会、講習会などの論文募集・参加者募集	1 ページ、1/2 ページまたは 1/4 ページ	(主催・共催)	
			1 ページ	52,500 円
			1/2 ページ	31,500 円
			1/4 ページ	21,000 円
			(協賛)	
広告として取り扱う				
人材募集	国公立教育機関、国公立研究機関、 企業の人材募集	10 行程度	国公立教育機関、国公立研究機関	21,000 円
			賛助会員（企業）	31,500 円
			賛助会員以外の企業	52,500 円
* 本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り、追加料金 4,000 円で同一内容を本会 Web ページに掲載できます。				

#### ■申込方法

任意の用紙に、件名、申込者氏名、勤務先、職名、住所、電話番号および請求書宛先、Web 掲載の有無（人材募集のみ）などを記載し、掲載希望原稿を添えて下記の申込先へお申し込みください。

#### ■原稿の書き方

- 行事次第書： A4 判カメラレディまたは PDF ファイル（フォント埋め込み）とします。  
 (1 ページ) 天地 260mm × 左右 175mm  
 (1/2 ページ) 天地 130mm × 左右 175mm  
 (1/4 ページ) 天地 65mm × 左右 175mm  
 \* A4 判以外の原稿は縮小または拡大となりますのでご注意ください。

- 人材募集： 次の項目を明記し、E-mail または Fax、郵送にてお送りください。  
 [募集職種、募集人員、(所属)、専門分野、(担当科目)、応募資格、着任時期、提出書類、応募締切、送付先、照会先]  
 \* なお、都合により編集させていただく場合がありますので、ご了承ください。

#### ■申込期限

毎月 15 日を締切日とし、翌月号（15 日発行）に掲載します。

#### ■掲載料金

掲載号発行日に料金を請求いたしますので、3 カ月以内にお支払いください。

#### ■掲載申込先

(社) 情報処理学会 会誌編集部門 (有料会告係)  
 〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F  
 E-mail: editj@ipsj.or.jp Tel (03) 3518-8371 Fax (03) 3518-8375

日本のコンピュータ生誕 50 周年記念シンポジウム  
(情報処理学会 創立 45 周年記念)  
「50 年後の情報科学技術をめざして」記念論文募集

1960 年の創立後、発展を続ける情報処理分野で一貫して指導的役割を果たしてきた情報処理学会は、2005 年 4 月をもって創立 45 周年を迎えることとなりました。日本初の電子計算機(FUJIC,ETL Mark III) が誕生したのは 1956 年ですから、情報処理学会 45 周年は、日本の電子計算機が数え年で 50 歳を迎える記念すべき年にも当たります。この半世紀の間に、コンピュータ技術とネットワーク技術は比類のない進歩と広がりを見せました。巨大な産業が生まれ、猛烈なスピードで小型化・高速化・高機能化が進んでいます。わが国のコンピュータ技術は、スーパーコンピュータからゲーム端末や携帯電話までの幅広い領域で世界をリードしています。また、サービスとしての IT 産業も大変活発で、携帯電話向けのモバイルインターネットサービスでは世界で最も進んだサービスを提供しています。

こうした情報科学技術が、これから物質・環境・生命・医療などの先端科学技術と連携しながらさらに発展するためには、情報科学技術に関する長期的な視野とそれに向かうための短期的なロードマップが不可欠です。

そこで、情報処理学会では 45 周年を記念して、「50 年後の情報科学技術をめざして」というテーマのもとでの記念論文を募集することとしました。例えば、次のような課題のうちのいずれかについて論じることが考えられますが、投稿者の創意によって、全く新たな視点から議論を進めていただくことも大いに歓迎します。

- ・ 50 年後の人間社会がどの方向に進むか、そのなかで情報科学技術がどのような役割を果たすべきかについて論じる。
- ・ 50 年後の情報科学技術の萌芽となる理論や技術を示し、そのマイルストーンとなる重要課題を示す。
- ・ 人類に夢や幸福をもたらす情報科学技術のあり方を提案する。
- ・ 現在の情報科学技術のもつ課題について論じ、それを踏まえた情報教育のあり方を提案する。

投稿の詳細は、以下の応募要領の通りです。奮ってご応募ください。

### 【募集要領】

1. 対象 : 制限はありません。誰でも応募できます。
2. 論文の様式 : 日本語または英語で A4 で 10~20 ページ程度。1 ページ 1000 字程度 (英語の場合は 400words 程度) とします。
3. 論文投稿方法 : 印刷された論文または論文 PDF 版を情報処理学会事務局に送付してください。事務局からの受付通知をもって受け付けたものとします。  
なお、論文投稿の際はカバーシート (表紙) をつけてください。  
\*カバーシートはテキストファイルで作成してください。  
\*カバーシートは原稿の分量に含めません。  
<カバーシートの形式>
  - ・ 標題
  - ・ 著者名
  - ・ 論文概要(500 字程度)
  - ・ 著者連絡先 (勤務先、所属、郵便番号、住所、所属機関、電話、FAX、e-mail)
4. 論文投稿期限 : 平成 17 年 9 月 1 日 (木) (必着)
5. 入賞論文 : 最優秀論文 1 件、優秀論文数件を選定します。最優秀論文には賞金 20 万円、優秀論文には賞金 5 万円を贈呈し、その内容を情報処理学会誌に掲載します。
6. 入賞論文の発表と表彰 : 入賞論文は、「日本のコンピュータ生誕 50 周年記念シンポジウム」(平成 18 年 3 月 7 日 (火)) で発表し、表彰します。
7. 注意事項 : 投稿論文の内容は著者が最終責任を負えるものとし、著作権上問題のある論文の投稿や重複投稿はご遠慮ください。投稿論文は返却いたしません。入賞論文の著作権は当学会に帰属します。
8. 論文投稿・照会先 : 社団法人情報処理学会事業部門 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F  
TEL.03-3518-8373 (事業部門直通) FAX.03-3518-8375 e-mail: jigyo@ipsj.or.jp

ホームページ : <http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/taikai/68kai/50sympo/cfp.html>

## 人材募集 (有料会告)



**申込方法:** 任意の用紙に件名、申込者氏名、勤務先、職名、住所、電話番号および請求書宛先、Web掲載の有無などを記載し、掲載希望原稿（[募集職種、募集人員、(所属)、専門分野、(担当科目)、応募資格、着任時期、提出書類、応募締切、送付先、照会先]）を添えて下記の申込先へE-mail、Faxまたは郵送にてお申し込みください。  
\*都合により編集させていただく場合がありますので、ご了承ください。

**申込期限:** 毎月15日を締切日とし翌月号（15日発行）に掲載します。

**掲載料金:** 国公立教育機関、国公立研究機関 21,000円（税込）  
賛助会員（企業） 31,500円（ 〇 ）  
賛助会員以外の企業 52,500円（ 〇 ）  
\*本誌へ掲載依頼いただいた場合に限り、追加料金4,000円で同一内容を本誌Webページに掲載できます。

**申込先:** 情報処理学会 会誌編集部門（有料会告係） E-mail:editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8375  
\*原稿受付の際には必ず原稿受領のお知らせを差し上げています。もし返信がない場合は念のため確認のご連絡をください。

\*特に指定がないかぎり履歴書には写真を貼付のこと

### ■東京電力(株) (募集代行(株)キャリアライズ)

**募集人員** 正社員 1名  
**所属** 東京電力(株)電子通信部  
**業務内容** IP(インターネットプロトコル)関連機器の運用保守などにかかわるオペレーション業務、およびセキュリティ対策の立案・実行、社内における技術力向上のための指導的役割  
**応募資格** 大学卒または専門学校卒以上、30～40歳代前半の方(当該層の不足によるもので、メーカ・通信事業者・プロバイダなどにおいて、IPネットワークの開発および運用業務を通じたセキュリティ確保にかかわる実務経験を5年以上有する方)  
○保有が望ましい資格…情報セキュリティアドミニストレータ、テクニカルエンジニア(ネットワーク)、システム監査技術者、シスコ関連資格(プロフェッショナルクラス・エキスパートクラス)  
その他、心身ともに健康で性格が明るい方、同僚と協調性を持って業務を進めていただける方、実作業や宿泊を伴う業務への対応をいとわない方  
**応募方法** 履歴書、職務経歴書(書式自由)を下記送付先まで送付ください。応募の秘密は厳守いたします  
**応募締切** 平成17年5月31日(必着)  
**送付先** 〒104-0031 東京都中央区京橋1-8-7京橋日殖ビル4F (株)キャリアライズ紹介事業部 「情報処理5月号」募集デスク  
E-mail:saiyo@career-rise.co.jp Tel(03)4284-6317 http://www.career-rise.co.jp  
\*応募書類は返却いたしませんのであらかじめご了承ください

**その他** 【勤務地】東京電力(株)本店(東京都千代田区内幸町1-1-3) 【勤務時間】8:40～17:20(休憩12:00～13:00)  
【休日】完全週休2日制(土日)、祝日、労働祭(5/1)、夏期休暇、年末年始、有給休暇、特別休暇、育児・介護休職制度など  
【給与】経験・能力など考慮の上、社内規定により優遇 【待遇など】賞与年2回、昇給年1回、社会保険(健保・雇用・厚生・労災)、持ち家財形・融資制度、退職年金制度、各種貸付制度、社宅、厚生施設など

### ■(独)理化学研究所

**募集人員** 基礎科学特別研究員 70名程度  
**専門分野** 物理学、化学、生物科学、医科学、工学の各分野で、理化学研究所で実施可能な研究  
**応募資格** 平成18年4月1日現在35歳未満で、自然科学の博士号取得者またはこれと同等の能力を有すると認められる方  
\*日本国に永住権を有さない外国人にあつては、上記に加え次の条件を満たす方  
(1)応募日現在に日本国に在住している方 (2)日本国の大学院博士課程を修了(見込み含む)し、博士号を取得(見込み含む)の方  
**着任時期** 平成18年4月1日  
**応募方法** 応募要項の請求は、下記FaxまたはE-mailへ (1)郵便番号 (2)住所 (3)氏名(漢字)  
(4)氏名(カタカナ)を記入し、送信すること \*要項代は無料  
**応募締切** 平成17年5月31日(必着)  
**送付先** 〒351-0198 埼玉県和光市広沢2-1 (独)理化学研究所研究調整部研究交流課 基礎科学特別研究員担当  
E-mail:wakate@riken.jp Tel(048)467-9268(直通) Fax(048)463-3687

**その他** (独)理化学研究所は、我が国の基礎研究を強力に推進するため、平成18年度の基礎科学特別研究員を募集します。斬新な研究課題を自主的に遂行できる若い研究者の応募を期待します 【待遇など(平成16年度実績)】(1)謝金…月額48万7千円(社会保険料、税込)(2)通勤費…実費(上限4万5千円/月)(3)住宅費…家賃の一部支給(4)研究費…130万円/年 【契約期間】連続して最長3年間を限度とし、毎年度所要の評価により契約更新  
\*本件は当研究所予算の成立を前提としており、その事情により変更になる場合があります

## ■諏訪東京理科大学システム工学部電子システム工学科

募集人員 嘱託助手 2名 (任期3年)  
 専門分野 CMOSLSI素子のばらつき解析および回路設計手法への適用, 無線通信を含む通信・ネットワーク分野, メディア情報処理技術  
 担当科目 学生実験, 演習科目の補助  
 応募資格 博士の学位を取得(または着任までに取得見込み)の方, 着任時の年齢が33歳以下の方が望ましい  
 着任時期 平成18年4月1日  
 提出書類 履歴書, 研究業績リスト(レフりー付き論文, レフりー無し論文, 著書などに分けて記載), 主要論文別刷(5編以内, コピー可)  
 着任後の教育研究に対する抱負(A4用紙2枚程度), 連絡先(電話・E-mailアドレスなど)  
 応募締切 平成17年6月17日(必着)  
 送付先 〒391-0292 長野県茅野市豊平5000-1 諏訪東京理科大学システム工学部電子システム工学科 主任 谷 辰夫  
 E-mail:tani@rs.suwa.tus.ac.jp Tel(0266)73-1201 Fax(0266)73-1230 「教員応募書類在中」と朱書き書留  
 \*原則として応募書類は返却いたしません

## ■新潟大学総合情報処理センター

募集人員 助教授 1名 (業績・実績により講師として任用の場合もあり)  
 専門分野 情報ネットワーク, 情報セキュリティ, 計算機システム  
 応募資格 以下の2つの条件を満たす方  
 (1) 上記研究分野または関連分野での研究業績を有すること. 大規模計算機システム, 情報ネットワークシステムの企画・管理・運用経験を有し, 当センター計算機システムおよび全学ネットワークシステムの企画・管理・運用が可能な方. 情報セキュリティ対策・管理に熱意があり, 情報セキュリティ業務の担当が可能な方. 本学の実施する情報ネットワーク, 情報セキュリティ, 計算機システム設計などに関する情報処理教育科目の担当が可能な方. 年齢は40歳未満の方  
 (2) 博士の学位を有し, 今後上記分野で研究を進め, 大学院学生の研究指導ができること  
 着任時期 採用決定後, 平成17年10月1日までのできるだけ早い時期  
 提出書類 履歴書(市販の履歴書(A4判)に自筆署名押印), 教育研究業績書(本学所定様式)\*, 主要論文別刷(5編程度), 研究概要(A4用紙1枚, 1200字程度), 推薦書(A4用紙1枚(なくても可)), 計算機システム・計算機ネットワークの管理運用, 情報セキュリティ管理業務に関する実績と抱負(A4用紙1枚, 1200字程度)  
 \*本学所定様式は, 大学Webページ(<http://www.cc.niigata-u.ac.jp/koubo2005/>)からダウンロードしてください  
 応募締切 平成17年6月20日(必着)  
 送付先 〒950-2181 新潟県新潟市五十嵐二の町8050 新潟大学総合情報処理センター 教員選考委員会委員長 「応募書類在中」と朱書き書留  
 照会先 教員選考委員会委員長 仲澤幹雄 Tel/Fax(025)227-0962  
 その他 必要に応じて面接を行う場合があります(ただし, その際の旅費などは自己負担とさせていただきます)

## ■九州大学大学院システム情報科学研究院

募集人員 教授 1名  
 所属 情報理学部門発見科学講座  
 応募資格 博士の学位を有する方, 機械学習・機械発見・データマイニング・発見科学(計算科学との境界領域も含む)の分野において卓越した研究業績を有する方, 計算機科学分野の教育(全学教育, 学部教育, 大学院教育)を幅広く担当できる方, システム情報科学府およびシステム生命科学府の講義を担当できる方  
 着任時期 平成18年1月以降4月1日までに着任のこと  
 提出書類 (1) 履歴書(学歴は高校卒業から記載のこと) (2) 業績目録(研究業績(著書・学術論文・特許), 教育実績, 大学などにおいては外部資金の獲得状況, 企業などにおいてはプロジェクトなどの実施状況, 学会および社会における活動など(所属学会名・学会活動・受賞・社会活動など)) (3) 主要学術論文別刷(5編程度, コピー可) (4) 最近10年以内の研究開発活動の概略(自分の果たした役割を明示) (5) 着任後の教育研究への抱負(2000字程度) (6) 応募者について意見を伺うことができる方2名の氏名・所属・連絡先 (7) 推薦書((6)の方によるものである必要はない)  
 応募締切 平成17年6月30日(必着)  
 送付先/照会先 〒812-8581 福岡県福岡市東区箱崎6-10-1 九州大学大学院システム情報科学研究院情報理学部門 竹田正幸  
 Email:takeda@kyushu-u.ac.jp Tel(092)642-2692/2697 「教員応募書類在中」と朱書き書留  
 \*提出書類は返却いたしませんのでご了承ください。  
 その他 面接をさせていただく可能性があります。詳細はWebページ(<http://www.i.kyushu-u.ac.jp/>)を参照ください

## ■筑波大学大学院ビジネス科学研究科

- 募集人員 (a)助教授または講師 1名 (b)助教授または講師 1名  
 所 属 (a)ソフトウェア工学・情報システム分野 (b)人工知能分野  
 専門分野 (a)原則としてシステム分析, 要求仕様, ソフトウェア開発, およびビジネスプロセスとそれに基づく情報システム設計に関する講義を担当し, 研究指導ができること  
 (b)原則としてAIを用いたシミュレーション, データマイニングとそれに基づく情報システムに関する講義を担当し, 研究指導ができること  
 応募資格 (a) (b)共に, 博士(ないしPh.D)の学位を有すること, もしくは, それに相当する業績を有すること  
 着任時期 決定後なるべく早い時期  
 提出書類 履歴書(ワープロ可), 研究業績リスト, 主要論文などの別刷あるいは実務上の業績を説明する書類(最近5年間の5編以内を選択することが望ましい, コピー可)  
 応募締切 平成17年6月30日(必着)  
 送付先 〒112-0012 東京都文京区大塚3-29-1 筑波大学大学院ビジネス科学研究科 経営システム科学専攻長 吉田健一  
 「ソフトウェア工学・情報システム」もしくは「人工知能」と明記し書留 \*提出書類は返却いたしませんのでご了承ください  
 照会先 (a)経営システム科学専攻 教授 久野 靖 E-mail:kuno@gssm.otsuka.tsukuba.ac.jp  
 (b)経営システム科学専攻 教授 津田和彦 E-mail:tsuda@gssm.otsuka.tsukuba.ac.jp

## ■北見工業大学情報システム工学科

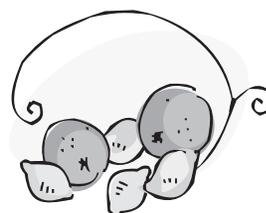
- 募集人員 助手 1名(任期5年, 実績により再任(3年)または昇任可)  
 所 属 知能情報工学講座  
 専門分野 知能情報学, ソフトコンピューティング, または知覚情報処理  
 担当科目 プログラミング入門Ⅰ・Ⅱの演習補助, 情報システム工学実験Ⅲ・Ⅳの実験補助  
 応募資格 採用予定日までに博士の学位を有していること, 上記専門分野の教育・研究に意欲を持って取り組めること, 国籍は問わないが, 教育・研究指導を行うための十分な日本語能力を有すること, 35歳以下の方が望ましい  
 着任時期 平成17年10月1日を希望  
 提出書類 履歴書(学歴は高等学校入学以降), 研究業績リスト(論文, 著書などに分類して記載), 論文別刷(各1部, コピー可), 外部資金獲得状況一覧, 今後の教育と研究に関する抱負(1000字程度), 推薦書1通(または照会可能な方2名の氏名・連絡先)  
 応募締切 平成17年7月15日(必着)  
 送付先/照会先 〒090-8507 北海道北見市公園町165 北見工業大学情報システム工学科 助手選考委員会委員長 藤原祥隆  
 E-mail:fujiiwara@cs.kitami-it.ac.jp Tel(0157)26-9326 Fax(0157)26-9344  
 「情報システム工学科助手応募書類在中」と朱書し簡易書留 \*応募された書類などは返却いたしませんのでご了承ください  
 その他 選考方法: 一次選考(書類審査)を通過した方について, 面接による最終選考を行います(面接に伴う旅費などは本人負担)  
 Webページ(<http://www.kitami-it.ac.jp/new/koubo.html>)を参照ください

## ■松江工業高等専門学校情報工学科

- 募集人員 助手 1名  
 専門分野 情報工学  
 応募資格 採用時までに博士の学位を有し, 原則として35歳以下の方  
 着任時期 平成18年4月1日(予定)  
 提出書類 履歴書, 研究業績リスト, 主要論文別刷(3編, コピー可), 教育・研究に対する抱負(A4用紙1000字程度), 推薦書2通(自薦も可)  
 応募締切 平成17年7月29日(必着)  
 送付先 〒690-8518 島根県松江市西生馬町14-4 松江工業高等専門学校 庶務課人事係 Tel(0852)36-5112  
 「情報工学科教員応募書類在中」と朱書し書留  
 照会先 情報工学科長 岡本裕幸 E-mail:okamoto@matsue-ct.ac.jp Tel(0852)36-5246  
 その他 選考方法: 書類選考および面接(模擬授業を含む)

## ■豊田工業大学大学院工学研究科

募集人員	助教または講師 1名
所 属	情報援用工学専攻
専門分野	情報応用分野, 特に通信理論, 情報理論, 高速大容量通信技術, さらにはパターン認識理論, 情景や顔画像などの解析および認識技術, 画像・音声処理やデータ圧縮などのマルチメディア処理など
応募資格	博士の学位を有し, 上記専門分野において優れた研究業績があり, 今後この分野の先駆的研究ができる方. 教育面では, 博士後期課程学生を指導できる能力を有し, 通信理論・情報理論などの大学院レベルの講義ができる方
着任時期	採用決定後できるだけ早い時期
提出書類	履歴書, 研究業績リスト, 主要論文別刷(5編程度, コピー可), これまでの研究の要約と着任後の研究・教育についての抱負(約2000字以内), 推薦者2名の氏名・所属・連絡先
応募締切	平成17年8月31日(当日消印有効)
送 付 先	〒468-8511 愛知県名古屋市長久区久方2-12-1 豊田工業大学総務部 倉田弘継 Tel(052)809-1750 Fax(052)809-1734 「情報通信分野書類在中」と朱書き簡易書留 *応募書類は原則として返却いたしません
照 会 先	選考委員会委員長 教授 田中周治 E-mail:tanaka-2@toyota-ti.ac.jp Tel(052)809-1775

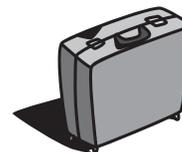


### 書評・会議レポート募集のお知らせ

情報処理学会会誌編集委員会では, 会誌「情報処理」に掲載する書評, および会議レポートを広く会員の皆さまから募集しています.

1. 募集対象 次の2種類の記事について, 原稿を募集します.
  - a) 書 評 : 過去2年間に出版された, 本学会員にとって有益な図書についての紹介もしくは批評.
  - b) 会議レポート: 情報処理に関する国際規模の会議・大会の報告など, 時事性が高く, 本学会員に広く知らせる価値のある話題.

2. 応募資格  
原則として本学会員に限ります.



3. 応募の手続き
  - 1) 表 題: 書評の場合は, 著者名, 書名, ページ数, 発行所, 発行年, 価格, ISBN を書く.  
会議レポートは, 見出しを書く. 書評, 会議レポートの別を左肩に書く.
  - 2) 評者名 (会議レポートの場合は筆者名)・所属・評者連絡先 (住所, E-mail, Fax など) の記載を忘れずに.
  - 3) 本 文: 書評, 会議レポートとも 2,100 字前後で書く.
  - 4) (必要であれば) 参考文献, 付録, 図, 表をつける.  
詳しくは「原稿執筆案内」(<http://www.ipsj.or.jp/07editj/toukou/shippitsu/kaishi.html>) を参照してください.

4. 原稿の取扱い  
投稿された原稿は会誌編集委員会で審査し, 採否を決定します. 採用にあたっては原稿の修正をお願いすることがあります. あらかじめご了承ください.

5. 照会/応募先 (社)情報処理学会 会誌編集部門 E-mail:editj@ipsj.or.jp

IPSJ カレンダー

開催日	名称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
	論文誌「ユビキタス社会におけるコラボレーションサービス」 特集への論文投稿 <a href="http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/06-C.html">http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/06-C.html</a>	5月20日(金)		
	論文誌「ネットワーク生態学～生命現象から社会経済現象の 新しいパースペクティブ～」特集への論文投稿 <a href="http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/06-G.html">http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/06-G.html</a>	5月20日(金)		
	論文誌「新たな適用領域を切り開く情報システム」特集への 論文投稿 <a href="http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/06-E.html">http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/06-E.html</a>	6月15日(水)		
	論文誌「再考 分散システム/インターネットの運用・管理」 特集への論文投稿 <a href="http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/06-H.html">http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/06-H.html</a>	6月24日(金)		
	論文誌「マルチエージェントの理論と応用」特集への論文投稿 <a href="http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/06-F.html">http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/06-F.html</a>	8月31日(水)		
5月18日(水)～ 5月20日(金)	先進的計算基盤システムシンポジウム SACSIS 2005 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/SACSIS2005.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/SACSIS2005.html</a>	1月17日(月)	5月13日(金) 12:00まで	つくば国際会議場
5月19日(木)～ 5月20日(金)	第120回システムLSI設計技術研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/SLDM120.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/SLDM120.html</a>	3月17日(木)	当日のみ	高知大学メディアの森 6Fホール
5月19日(木)	第101回アルゴリズム研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/AL101.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/AL101.html</a>	3月18日(金)	当日のみ	九州大学 箱崎キャンパス
5月19日(木)～ 5月20日(金)	第29回コンピュータセキュリティ研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/CSEC29.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/CSEC29.html</a>	3月21日(月)	当日のみ	名古屋大学情報連携 基盤センター
5月19日(木)～ 5月20日(金)	第136回データベースシステム・第79回情報学基礎合同研究 発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/DBS136FI79.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/DBS136FI79.html</a>	3月22日(火)	当日のみ	東京電力 電気の史料館 ミュージアムホール
5月20日(金)	第119回グラフィクスとCAD研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/CG119.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/CG119.html</a>	4月1日(金)	当日のみ	日本大学生産工学部
5月20日(金)	第48回情報処理学会通常総会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/03somu/rijikai_sohkai/sohkai/soukai2005-tuiyo48.html">http://www.ipsj.or.jp/03somu/rijikai_sohkai/sohkai/soukai2005-tuiyo48.html</a>			学士会館
5月23日(月)	第60回音楽情報科学研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/MUS60.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/MUS60.html</a>	3月28日(月)	当日のみ	化学会館会議室 (御茶ノ水)
5月25日(水)	第15回高品質インターネット研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/QAI15.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/QAI15.html</a>	3月14日(月)	当日のみ	名古屋大学
5月25日(水)～ 5月26日(木)	第33回モバイルコンピューティングとユビキタス通信研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/MBL33.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/MBL33.html</a>	3月16日(水)	当日のみ	化学会館会議室 (御茶ノ水)
5月25日(水)～ 5月27日(金)	第99回システムソフトウェアとオペレーティング・システム 研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/OS99.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/OS99.html</a>	3月31日(木)	当日のみ	ホテルムーンビーチ (沖縄)
5月26日(木)～ 5月27日(金)	第167回自然言語処理第56回音声言語情報処理研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/NL167SLP56.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/NL167SLP56.html</a>	3月18日(金)	当日のみ	東京工科大学
5月26日(木)	第56回グループウェアとネットワークサービス研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/GN56.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/GN56.html</a>	3月25日(金)	当日のみ	化学会館会議室 (御茶ノ水)
5月27日(金)	第92回情報システムと社会環境研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/IS92.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/IS92.html</a>	3月16日(水)	当日のみ	(社)情報サービス産 業協会会議室
5月27日(金)	第50回デジタル・ドキュメント研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/DD50.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/DD50.html</a>	3月18日(金)	当日のみ	トッパン・フォームズ
5月27日(金)	第66回人文科学とコンピュータ研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/CH66.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/CH66.html</a>	3月22日(火)	当日のみ	花園大学
5月27日(金)	第113回ヒューマンインタフェース研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/HI113.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/HI113.html</a>	3月25日(金)	当日のみ	ミューザ川崎 シンフォニーホール
5月30日(月)～ 6月1日(水)	20th IFIP International Information Security Conference (SEC2005) <a href="http://www.sec2005.org/">http://www.sec2005.org/</a>	11月15日(月)		幕張メッセ
5月31日(火)	第155回計算機アーキテクチャ研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/ARC155.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/ARC155.html</a>	3月31日(木)	当日のみ	産業技術総合研究所 臨海副都心センター
5月31日(火)	第148回ソフトウェア工学研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/SE148.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/SE148.html</a>	4月25日(月)	当日のみ	化学会館会議室 (御茶ノ水)
6月1日(水)～ 6月2日(木)	第54回プログラミング研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/PRO54.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/PRO54.html</a>	4月1日(金)	当日のみ	化学会館会議室 (御茶ノ水)
6月2日(木)	第102回ハイパフォーマンスコンピューティング研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/HPC102.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/HPC102.html</a>	4月15日(金)	当日のみ	千葉工業大学 津田沼キャンパス
6月2日(木)～ 6月3日(金)	第123回マルチメディア通信と分散処理研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/DPS123.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/DPS123.html</a>	4月8日(金)	当日のみ	宮城大学
6月4日(土)～ 6月5日(日)	第1回エンタテインメントコンピューティング研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/EC1.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/EC1.html</a>	4月4日(月)	当日のみ	東京工業大学
6月9日(木)～ 6月10日(金)	第8回ユビキタスコンピューティングシステム研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/UBI8.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/UBI8.html</a>	3月25日(金)	5月8日(日)	Jeju University (韓国・済州島)
6月16日(木)～ 6月17日(金)	Visual Computing / グラフィクスとCAD 合同シンポジウム <a href="http://fuji03.sys.wakayama-u.ac.jp/vc2005/">http://fuji03.sys.wakayama-u.ac.jp/vc2005/</a>	3月11日(金)		JA長野県ビル会議場
6月17日(金)	連続セミナー 2005 第1回「組み込みソフト基礎と各社の状況」 <a href="http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2005/index.html">http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2005/index.html</a>		定員になり次第	東京電機大学 神田キャンパス7号館 1F 丹羽ホール
6月17日(金)	第21回高度交通システム研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/ITS21.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/ITS21.html</a>	4月22日(金)	当日のみ	(株)NTTデータ
6月24日(金)	第13回システム評価研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/EVA13.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/EVA13.html</a>	4月18日(月)	当日のみ	アイ・アイ・エム
7月6日(水)～ 7月8日(金)	マルチメディア, 分散, 協調とモバイル (DICOMO2005) シンポジウム <a href="http://www.dicomo.org/">http://www.dicomo.org/</a>	3月15日(火)		ホテル志戸平 (岩手県花巻南温泉)

開催日	名称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
7月8日(金)	連続セミナー 2005 第2回「組み込み用OSの基礎と応用」 <a href="http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2005/index.html">http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2005/index.html</a>		定員になり次第	東京電機大学 神田キャンパス7号館 1F 丹羽ホール
7月8日(金)～ 7月9日(土)	第49回オーディオビジュアル複合情報処理研究発表会 <a href="http://www.tom.comm.waseda.ac.jp/~avm/society49.html">http://www.tom.comm.waseda.ac.jp/~avm/society49.html</a>	5月9日(月)	当日のみ	早稲田大学理工学部 大久保キャンパス
7月15日(金)～ 7月16日(土)	第57回音声言語情報処理研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/SLP57.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/SLP57.html</a>	5月13日(金)	当日のみ	函館 湯の川温泉
7月21日(木)～ 7月22日(金)	第30回コンピュータセキュリティ研究発表会 <a href="http://www.sdl.hitachi.co.jp/csec/mt20050721.html">http://www.sdl.hitachi.co.jp/csec/mt20050721.html</a>	5月20日(金)	当日のみ	岩手県立大学
7月21日(木)～ 7月22日(金)	第114回ヒューマンインタフェース研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/HI114.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/HI114.html</a>	5月20日(金)	当日のみ	白馬ロイヤルホテル (長野県白馬村)
7月22日(金)	第51回デジタル・ドキュメント研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/DD51.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/DD51.html</a>	5月17日(火)	当日のみ	岩手県立大学(予定)
7月25日(月)	第1回バイオ情報学研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/BIO1.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/BIO1.html</a>	5月20日(金)	当日のみ	産業技術総合研究所 (江東区 青海)
7月29日(金)	第16回高品質インターネット研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/QAI16.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/QAI16.html</a>	5月13日(金)	当日のみ	東京(浅草)
8月3日(水)～ 8月5日(金)	2005年並列/分散/協調処理に関する『武雄』 サマー・ワークショップ(SWoPP武雄) <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/SWoPP2005.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/SWoPP2005.html</a>	4月25日(月)	当日のみ	武雄市文化会館
8月5日(金)	第38回分散システム/インターネット運用技術研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/DSM38.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/DSM38.html</a>	5月27日(金)	当日のみ	一橋大学 国立キャンパス
8月24日(水)～ 8月26日(金)	DA シンポジウム 2005 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/S-DA2005.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/S-DA2005.html</a>	5月9日(月)		遠鉄ホテルエンパ イア
8月25日(木)	第93回情報システムと社会環境研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/IS93.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/IS93.html</a>	5月27日(金)	当日のみ	化学会館会議室 (御茶ノ水)
8月29日(月)～ 8月31日(水)	ネットワーク生態学研究グループ サマースクール <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/NE0508.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/NE0508.html</a>		定員になり次第	のとふれあい文化一 センター
9月7日(水)～ 9月9日(金)	FIT2005 第4回情報科学技術フォーラム <a href="http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/fit/fit2005/">http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/fit/fit2005/</a>	査読付: 4月28日(木) 一般: 6月3日(金)		中央大学 後楽園キャンパス
9月14日(水)	連続セミナー 2005 第3回「組み込み用LSI」 <a href="http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2005/index.html">http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2005/index.html</a>		定員になり次第	東京電機大学 神田キャンパス7号館 1F 丹羽ホール
9月29日(木)～ 9月30日(金)	平成17年度電気関係学会九州支部連合大会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/03somu/shibu/tayori/tayori.html">http://www.ipsj.or.jp/03somu/shibu/tayori/tayori.html</a>	7月1日(金)～ 7月20日(水)		福岡工業大学
10月7日(金)	連続セミナー 2005 第4回「組み込みソフト開発手法・検証 ツール」 <a href="http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2005/index.html">http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2005/index.html</a>		定員になり次第	東京電機大学 神田キャンパス7号館 1F 丹羽ホール
10月17日(月)～ 10月19日(水)	組込みソフトウェアシンポジウム2005 (ESS2005) <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/S-ESS2005.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/S-ESS2005.html</a>	7月15日(金)	定員になり次第	日本科学未来館
11月25日(金)	連続セミナー 2005 第5回「組み込みソフト開発事例 (組み込みOS系)」 <a href="http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2005/index.html">http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2005/index.html</a>		定員になり次第	東京電機大学 神田キャンパス7号館 1F 丹羽ホール
11月28日(月)	連続セミナー 2005 第6回「組み込みソフト開発事例 (ユビキタス系)」 <a href="http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2005/index.html">http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2005/index.html</a>		定員になり次第	東京電機大学 神田キャンパス7号館 1F 丹羽ホール
<b>2006年</b>				
1月23日(月)～ 1月27日(金)	2006年インターネット応用国際会議 (SAINT2006) <a href="http://www.saintconference.org/">http://www.saintconference.org/</a>	7月1日(金)		アメリカアリゾナ州 フェニックス
3月7日(火)	日本のコンピュータ生誕50周年記念シンポジウム (学会創立45周年記念イベント) <a href="http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/taikai/68kai/50sympo/">http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/taikai/68kai/50sympo/</a>			工学院大学 新宿キャンパス
3月8日(水)～ 3月10日(金)	第68回全国大会(学会創立45周年記念大会) <a href="http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/taikai/68kai/">http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/taikai/68kai/</a>			工学院大学 新宿キャンパス
9月5日(火)～ 9月7日(木)	FIT2006 第5回情報科学技術フォーラム			福岡大学

Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/>) 更新情報

#### [トピックス]

- 4月15日 人材募集情報(4月)更新しました
- 4月7日 Web教材制作公募中止のお知らせ
- 4月1日 Web教材制作の公募のお知らせ

#### [学会からのお知らせ]

- 4月15日 論文誌(ジャーナル)の論文査読状況を更新しました
- 4月5日 「マルチエージェントの理論と応用」特集の論文募集
- 4月1日 情報処理学会第48回通常総会開催のご案内
- 3月23日 論文誌(ジャーナル)の論文査読状況を更新しました

# 会員の広場

## Member's Voice

今月の会員の広場では、2月号へのご意見・ご感想を紹介いたします。まず、2月号の特集「ポストゲノム時代が高まるバイオ自然言語処理への期待：バイオ自然言語処理最新事情」については、多くのご感想とご意見をいただきました。

■ゲノムに関する研究が種々の情報処理技術に活かされようとしていることはさまざまな学術情報誌でも述べられていますが、自然言語処理分野への応用についてこれほど現実的・実用的なレベルまで研究が進んでいることには驚かされました。(佐藤慶三)

■バイオは自然言語であるという発想は非常に面白く、また記事の内容も参考になった。4つの塩基配列で構成されるにもかかわらず、人も動物も個々の個体は千差万別で、基本的な機能は同じでも、まったく同一のものはないという不思議さがある。基本的な機能を表現する機能言語群とそれを修飾して個体差を生み出す修飾言語群のようなものがあるのだろうか。バイオ自然言語処理の今後に期待したい。(匿名希望)

■今月の特集は、自分にとっては専門外であったためか、理解が追いつかない記事が多かったのですが、この記事は、生命科学がこれまで歩んできた道、現在残されている課題、これからの生命科学の方向性について俯瞰的に解説しており、全体像をつかむ上で非常にわかりやすいと思います。確かに、20世紀後半の分子生物学の発展に代表される分析的(解析的)・数式的アプローチはポストゲノム時代を迎えた今、ひとつの結節点にあり、これからは統合的・論理的(コトバ・人間の解釈)アプローチが重要である、という執筆者の主張には共感できるものがあります。自分がかかっている法律の世界や特許明細書の世界も、数式を使いながら最後は論理(コトバ)で説明しなければならないし、「人間の解釈」を通じて意味づけられるものだからです(もっとも「語る」という表現より、「論述する」という表現が自分にはしっくりくるのですが)。いずれにせよ、このようなマクロ的アプローチは、今後他の科学技術分野で重要になってくるように思います。(匿名希望)

■ヒトゲノムという言葉は最近本当によく聞く言葉であり、多くの研究者が必死になって研究を進めているということも知っている一方で、一体何が目的で、何を研究しているのかについて実はよく知らないでいましたが、今回の特集を読んでどのような研究がなされているのか、そしてそこにはどのような問題が存在するのか、ということがよくわかりました。バイオは自分の研究分野とはかなり離れていると思っていたので、今回の特集は全然わからないのではないかと心配したのですが、特集の内容は自然言語処理に重点が置かれていたため、おかげで特に難しすぎて読み詰まることなく、むしろ楽しく

読み進めていくことができました。今回の特集で取り上げられたさまざまな問題の中でも、同義語(シノニム)についての問題が特に興味深いと感じました。研究を進めていく中で付けられた名前が研究の足かせとなるというのは、新たな研究分野特有の問題ではないかと思いました。まだ研究対象の全体像がつかめないうちはなかなか統一的な名称は付けられないので、この問題は続くのではないかと感じました。何か、昔化学の授業で統一的な名称と慣用名を覚えさせられた時のことを思い出しました。(片山聡一郎)

■ゲノム、バイオの特集は、全国大会とリンクしており、実にタイムリーであった。(匿名希望)

解説「アクセシビリティの現状と展望ーJIS化とその影響ー」につきましては、次のようなご感想・ご意見をいただきました。

■身体障害者の60%が高齢者であり、さらに増加しているなど、なかなか興味深い内容であった。現状では電子政府などでは、パソコンがインターネットの主なインタフェースとなっているが、平らな画面だけですべての人が扱いやすいようにするのが大変なことがわかる。提供する情報によっては、インターネットラジオのような単機能の端末機器があっても良いのではないかと思った。(匿名希望)

■アクセシビリティに興味があったので、解説ではなく、特集で取り上げて欲しい。(匿名希望)

コラム「アジアIT事情：モンゴル、ネパール、スリランカのIT事情」につきましては、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■これら3カ国に共通しているのは、日本に対する感情がとても良いことです。さらに、言語が日本語と共通する部分が多いことも特筆に値するでしょう。インドのみならず、これらの国との交流が盛んになればと願っています。今のところ、日本は農業技術支援が中心で、情報産業の進出は寡聞にして聞きません。(水野光朗)

■モンゴルの「情報」教育の熱心さに関する文章を読んで、日本ももっと「情報」教育に本気で取り組むべきではないかと思いました。これからの社会を生き抜いていく上でも、そして国際競争を勝ち抜いていく上でも、「情報」は必須能力なのではないかと思いました。(片山聡一郎)

■ITとは無縁と思っていた国々でもITを活用して自国発展を目指していることを知り、予想していた以上に世界のIT化が推進されていると感じた。(匿名希望)

コラム「日本のIT事情：情報の周辺・周辺の情報(5) オンライン情報発信における日韓の差は双方向性の有無」につきましては、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■そう言われてみれば、日本で人気のあるネットゲーム(インターネットを通信手段として実行されるゲーム)のほとんどは、韓国で開発されたものです。ラグナロク・オンラインが代表的でしょうか。エンタテインメントの領域で、日本発のソフトウェアが開発されることを願っています。(水野光朗)

■今月号の「日本のIT事情」は、今ちょうど話題となっている日本のメディアのあり方に関する議論に対する1つの意見として捉えることができ、非常に興味深かったです。やはり情報の公平性を保つためには、双方向性というのが大切なのではないかと思います。

(片山聡一郎)

コラム「インターネット生活向上委員会：ヒントを与えてくれる検索エンジン」につきましては、次のようなご感想・ご意見をいただきました。

■検索エンジンは、非常によく用いるツールです。最近、精度が上がっており、役に立つことが多いと思います。しかしながら、ウェブサイトに掲載されているe-mail addressを自動的にロボットが収集し、spamメールの温床となっている事例も散見され、法整備とともに情報倫理の観点からも、今後検討する必要がある課題です。

(水野光朗)

■とりあえず今必要なことはたいがいネットで探せる。体系的な知識は教科書などまとまった本のほうがよく書かれている。

(匿名希望)

■とても参考になりました。今後は使ってみたいと思います。

(匿名希望)

その他の記事に関しては、以下のようなご感想をお寄せいただきました。

■コラム「情報技術と教育：変わるもの、変わってはいけないもの」このコラムのシリーズは毎回楽しく拝見させていただいております。著者の方がご指摘のように、最近はどこでも即戦力を求める風潮があり、世の中の余裕の無さを痛感しております。人も使い捨て時代に突入したのかと憂いているこの頃です。教育とは、スポーツと同じように基礎体力をつけてやることで、自分自身で才能を見つけ出し、それを将来発揮できるような人間をつくる場だと勝手に解釈しているのですが……

(匿名希望)

■連載「組込みソフト産業の実態と開発の課題」は日本における組込みシステム開発に関する実情を把握するのに勉強になりました。

(菅原宏之)

■連載「組込みソフト産業の実態と開発の課題」では、組込み技術者として要求される素養のグラフが特に興味深かった。HW/SW偏りなく幅広い知識が要求されること、要求の洗い出しや技術者間でのすり合わせに必要なコミュニケーション能力が重要視されていることがよく分かった。このあたりは現在の大学・高専カリキュラムでは網羅するのが難しいので、どうやって解決をしていくのが今後注目したい。

(匿名希望)

■既存のパターンとWebサービスがどのように関係するかを解説している連載「Webサービス：Webサービスのパターンとベストプラクティス」の記事に興味を持った。

(亀井靖高)

会誌の内容や今後取り上げて欲しいテーマに関して、以下のご意見やご要望をお寄せいただきました。今後の参考にさせていただきます。

■情報関連技術者としてのスキルに対する産業現場のニーズについて、多方面からの意見を特集していただければ、ありがたいです。

(田中邦明)

■プログラム言語の最近の動向について知りたいです。(片山聡一郎)

■アスペクト指向に関する特集を組んでいただきたい。(亀井靖高)

■以前、冷蔵庫をサーバにしてすべての家電をネットワークでつなげる構想があったと思います。現在の家電ネットワーク構想の特集をお願いします。

(匿名希望)

■4月から施行の個人情報保護法に関連するトピックを取り上げて欲しい。(匿名希望)

今月はこのほかにも数多くのご意見・ご感想をいただきましたが、スペースの都合上すべてを掲載することができませんでした。これらのコメントはWeb版会員の広場「読者からの声」<URL:http://www.ipsj.or.jp/07editj/dokusha/dokusha.html>に掲載していますので、そちらもご参照ください。会誌や掲載記事に関するご意見・ご感想は学会Webページでも受け付けております。今後もよりよい会誌を作るため、ぜひ皆様のお声をお寄せください。

【本欄担当 大城正典、伊藤敏彦／書評・ニュース分野】

## ご意見をお寄せください！！

皆様にとって会誌をより役立つものとするため、自由なご意見、ご感想をお待ちしております。

- ・記事に対する感想、意見
  - ・記事テーマの提案
  - ・会誌または学会に対する全般的な意見、提言
  - ・その他、情報処理技術についての全般的な意見、提言
- なお、「道しるべ」については

<URL : http://www.ipsj.or.jp/07editj/toukou/michishirube/michishirube.html>  
これからのテーマ案を募集しており、いただいたご意見をまとめております。

※ご意見、ご感想を会誌に掲載させていただいた方には薄謝または記念品を進呈いたします。掲載に際しては、編集の都合上、ご意見に手を加えさせていただくことがあります。あらかじめご了承ください。

応募先 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F  
情報処理学会 会誌編集部門 E-mail:editj@ipsj.or.jp Fax:(03)3518-8375  
http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enq4605.html

皆様からいただいた会誌へのご意見は下記Webページにも掲載しております。  
<URL : http://www.ipsj.or.jp/07editj/dokusha/dokusha.html> (読者からの声)

